

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 1 月 31 日作成)

小委員会名	鉄骨非破壊検査小委員会		主 査 名：田中 剛 就任年月：2006 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	鉄骨工事運営委員会		委員長名：岡田 久志 主 査 名：
設 置 期 間	2006 年 4 月 ～ 2010 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	2006 年度：「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規準・同解説」の改定作業 2007 年度：「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規準・同解説」改定版の刊行と講習会 2008 年度：近年の鉄骨構造形式、鉄骨生産方式に対応した非破壊検査のあり方に関する検討 2009 年度：規準の見直し項目を整理し、次期改定のための資料を収集する。		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 田中剛 (神戸大学), 倉持貢 (清水建設), 石井匠 (JFE), 石原莞爾 (大手町ファストスクエア), 笠原基弘 (ジャスト), 上平綱昭 (エンジニアリングサービス), 川口淳 (三重大学), 坂本真一 (清水建設), 嶋徹 (戸田建設), 鈴木孝彦 (新日鉄), 津山巖 (日建設計), 中込忠男 (信州大学), 橋田知幸 (片山ストラテック), 藤本信夫 (鹿島建設)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2008 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1. なし
講習会	1. 「鉄骨造建築溶接部の超音波探傷検査規準」改定講習会 参加者数 80 名 (2008 年 3 月に東京・大阪の 2 会場で講習会を行ったが、東京会場では、定員を上回ったので、2008 年 4 月に追加の講習会を開催した。)
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. なし 参加者数 名
大会研究集会	1. なし 参加者数 名
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 2008 年 3 月に「鉄骨造建築溶接部の超音波探傷検査規準」の改定版を出版し、3 月～4 月に講習会を実施した。改定内容に対する質疑が数件寄せられ、回答を行った。 2. 改定に際して、固形エンドタブを用いた溶接部に新しい検査方法を導入したが、その検査方法の実務に対する適用例および問題点等に関する資料を収集している。 3. 既存鉄骨造建物の耐震診断のために行われる UT 検査の実態および問題点等に関する資料を収集している。
委員会活動の問題点・課題	1. なし

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。